

バス車内の車いす固定に関する動画の制作（企画案）

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

1. 趣旨・目的

- バス事業の現場においては、車いすが多様であること、「車いすの固定」に対する運転士の理解やスキルが不足していること等により、車いす使用者がバスへの利用しにくさを感じる一因となっている。
- 集合型の研修開催が難しい中であっても、「車いすの固定」に関するバス事業者および運転士への情報発信、学習機会の提供を目的として、『車いす固定動画』を制作する。
 - ⇒ 交通サポートマネージャー研修での活用、同 Web サイトへの掲載とともに、各交通事業者への展開を図る

2. 動画の作成方針

動画の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○車いす固定のポイント（固定方法と場所）を視覚的に理解することができる <u>15 分程度</u>の動画（ナレーション付）を制作する。 ○現場での対応を想定し、5 種類程度の車いすを取り上げる。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ それぞれの特徴や違いを解説（パーツ・操作方法概要、日本製と海外製の違い等） ⇒ 撮影には、障害当事者のアドバイスと参加を依頼 ○撮影に使用する車両は、巻き取り式車いす固定装置が設置されている「標準仕様ノンステップバス（15 認定）」を使用する。 ○撮影は協力が得られるバス事業者の営業所を想定。※国交省、バス協会と調整
動画の構成（案）	<ul style="list-style-type: none"> ①車いすの映像（特徴などを解説）、②巻き取り式車いす固定装置の使用方法 ③車いすの固定の映像（バス車内で撮影）、④声かけ～乗車介助～固定までの一連の映像（1タイプのみ、時間を表示） <p>※POINT を字幕表示</p>
活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・交通サポートマネージャー研修での活用 ・日本バス協会、国土交通省を通じてバス事業者へ展開 <p>⇒ 車内研修、自主学習等で活用していただく</p>
クレジット（体制）	<p>制作：交通エコロジー・モビリティ財団（交通サポマネ研修） 協力：国土交通省自動車局安全政策課・旅客課、日本バス協会、DPI 日本会議、日本身体障害者団体連合会、協力事業者名</p>



[ワンポイント例]

ハンドル（ブレーキとリクライニング）、手動と電動の切り替えの方法、転倒防止バーの操作、スティック等の触れてはいけない場所、フック可能箇所のマーキング、転倒防止バーがスロープにひっかかる場合の対応、シートベルト着用時の注意事項（適切な装着方法、体幹の機能によっては着用できない場合があること）等